

## 会務報告

# お知らせ

### 日本作業行動学会第21回学術集会在開催されました

日本作業行動学会第21回学術集会在平成23年9月17日(土)午後12時45分から18日(日)午後4時30分まで、首都大学東京荒川キャンパス(〒116-8551 東京都荒川区東尾久7-2-10)で、山田孝(首都大学東京大学院人間健康科学研究科)大会長、小林法一(首都大学東京大学院人間健康科学研究科)実行委員長のもとで、以下のように開催されました。参加者は126名(会員事前64名、当日31名、非会員事前21名、当日7名、学生3名)、ナイトセミナー参加者は51名でした。

#### 大会テーマ：人間作業モデルの魅力

～キールホフナー教授を偲んで～

#### 特別講演：人間作業モデルの魅力～作業療法の理論として～

山田 孝 先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科)

#### 参加費：事前申込；会員3,000円、非会員4,000円

当日申込；会員4,000円、非会員5,000円、学生1,000円

#### ナイトセミナー～参加費：3,000円(中央食堂)

### プログラム

#### 一日目(9月17日)

12時00分～12時45分 受付

12時45分～13時00分 開会式(A会場)

挨拶 大会長 山田 孝 先生

13時00分～14時20分 特別講演(A会場)

司会 秋田大学 石井 良和 先生

「人間作業モデルの魅力～作業療法の理論として～」

首都大学東京大学院人間健康科学研究科

山田 孝 先生

14時30分～15時15分 一般演題1

セッション1(A会場)

座長 鹿児島大学 岩瀬 義昭 先生

演題1 作業療法における「手工芸に対する自己効力評価」の作成に関する研究～虚弱高齢者得点群の得点分布と標準得点化～

神奈川県立保健福祉大学 鎌田 樹寛 ほか

演題2 認知症高齢者の絵カ～ド評価法を用いた2事例の検討～認知症高齢者に対するクライアント中心の考え方と作業に焦点を当てた作業療法実践を目指して～

大阪保健医療大学リハビリテーション学科・首都大学東京大学院人間健康科学研究科博士後期課程 井口 知也 ほか

演題3 自発性を引き出す支援へ向けての取り組み～「意志質問紙」を用いて～

医療法人広翔会こうの脳神経外科クリニック 島崎 佳子

15時30分～16時00分 ディスカッション1(学生食堂)

「作業行動の臨床的課題」

進行 首都大学東京 石橋 裕 先生

メンター\*の先生たちと各テーブルでテーマについて自由に意見交換できるよう準備いたしました。この機会を利用して、臨床の悩みや困っていること、作業療法について想うことを共有して頂きました。

※メンター(mentor)：良き指導者、助言者。

16時15分～17時00分

特別プログラム1(学生食堂)

「人間作業モデルから学んだこと」

司会 首都大学東京 小林 法一 先生

発表者

神奈川県立保健福祉大学 鎌田 樹寛 先生

昭和大学 鈴木 憲雄 先生

山形県立保健医療大学 竹原 敦 先生

17時10分～18時10分

日本作業行動学会総会(A会場)

18時15分～19時40分 ナイトセミナー

特別プログラム2(学生食堂)

「人間作業モデルから学んだこと」

司会 大阪保健医療大学 井口 知也 先生

発表者

神奈川県立保健福祉大学 笹田 哲 先生  
麻生リハビリテーション大学校

青山 克実 先生

関西学研医療福祉学院 南 征吾 先生

北都保健福祉専門学校 本家 寿洋 先生

## 二日目(9月18日)

9時30分～10時 受付

10時00分～12時00分 シンポジウム(A会場)

「キールホフナー教授から学んだこと」

司会 愛知医療学院短期大学 原 和子 先生  
パネリスト

神奈川県立保健福祉大学 長谷 龍太郎 先生

北海道大学 村田 和香 先生

秋田大学 石井 良和 先生

浜松大学 野藤 弘幸 先生

13時00分～13時40分 公開事例検討会(A会場)

座長 昭和大学 鈴木 憲雄 先生

演題 I 101歳の自叙伝作り

介護老人保健施設あいぜん苑 佐藤 晃太郎

演題 II 脳卒中を経験し、自殺したいと語った男性

クライアントに対する回復期病棟での作業療法

茅ヶ崎新北稜病院・首都大学東京大学院人間

健康科学研究科博士前期課程 宗形 智成

13時50分～14時50分 一般演題2

セッションII(演題4～7 会場:A会場)

座長 神奈川県立保健福祉大学 鎌田 樹寛先生

演題 4 わが国の医療領域における退職に関する取

り組み～2000年から2011年の文献レビューよ

り～

関西学研医療福祉学院作業療法学科・首都大

学東京大学院人間健康科学研究科博士前期課

程 河津 拓 ほか

演題 5 クライエントの健康関連 QOL および生活

満足度に影響を与える回復期リハビリテーシ

ョン病棟に関する文献レビュー

茅ヶ崎新北稜病院・首都大学東京大学院人間

健康科学研究科博士前期課程 宗形 智成

ほか

演題 6 脳血管障害作業療法の EBOT と作業療法

の理論的枠組みについて

日本医療科学大学保健医療学部リハビリテー

ション学科・首都大学東京大学院人間健康科

学研究科博士前期課程 荻山泰地 ほか

演題 7 精神障害者が抱く希望の効果や要因に関す

る文献レビュー～

国立精神神経医療研究センター病院・

首都大学東京大学院人間健康科学研究科博士

前期課程 富澤 涼子 ほか

セッションIII(演題8～11 会場:B会場)

座長 山形県立保健医療大学 竹原 敦 先生

演題 8 脳卒中者と担当作業療法士の作業療法の意

味づけに関する対比研究

(医) 康心会ふれあい町田ホスピタル・首都

大学東京大学院人間健康科学研究科 小林幸

治 ほか

演題 9 地域生活する男性脳卒中障害高齢者の作業

適応と人間関係の変容プロセス

東京工科大学医療保健学部作業療法学科 西

野由希子 他

演題 10 主介護者である妻をクライアントとして

関わった一事例

IMS グループ春日部ロイヤル訪問看護ステ

ーション 松澤良平

演題 11 病気療養中の息子と同居する要支援女性

高齢者の生活支援～作業的ナラティブを用いた

面接事例～

(有) 多摩たんぼぼ介護センターデイサービ

スセンターたんぼぼ・首都大学東京大学院

人間健康科学研究科博士前期課程 猪股英輔

15時00分～15時30分 ディスカッション2(学生食

堂) 「作業行動の臨床的展望」

進行 首都大学東京 石橋 裕 先生

15時35分～16時20分 一般演題3

セッションIV(演題12～14 会場:A会場)

座長 (医) 康心会ふれあい町田ホスピタル

小林 幸治 先生

演題 12 家に帰ってもできると自信を持って退院

した不安の強い脳腫瘍手術後の女性患者

社会福祉法人仁生会 江戸川病院 内田健

演題 13 作業の目的が変化していったがん患者の

事例～興味ある作業を用いる中で～

滋賀県立成人病センター 松本美穂子 ほか

演題 14 革細工を導入したことで意志と習慣が再

構築された高齢機能障害者の事例

森山メモリアル病院 矢野貴大 ほか

セッションV(演題15～16 会場:B会場)

座長 介護老人保健施設回生の里

篠原 和也 先生

演題 15 意志サブシステムへの働きかけにより余

暇的活動の再開に至ったある一例

社会医療法人仁厚会 藤井政雄記念病院  
梅津清司郎

演題 16 頭部外傷により自発性が低下した事例への  
クライアント中心の実践～人間作業モデルと  
その評価法を用いたアプローチ～

常葉リハビリテーション病院 鹿田将隆  
ほか

16時25分 閉会

**関連プログラム:** 人間作業モデル一日講習会を9月  
19日(月・祝)に首都大学東京荒川キャンパスで  
開催しました。学術集会参加者で学会員の方は、  
2,000円で参加できました。

### 日本作業行動学会総会報告

前号に掲載しました総会議案はすべて承認されました。今年度より前年度の「作業行動研究」に掲載された論文より研究論文と事例報告の各1論文を総会にて表彰することになりました。それぞれの論文は下記の通りです。

研究の部

小林法一・他：予防的作業療法プログラム参加者における「作業に関する自己評価・改訂版」の内部妥当性～ラッシュ分析による検討～

事例報告の部

篠原和也・他：脳卒中維持期の対象者に人間作業モデルを用いた作業療法実践の3事例の報告

### 研究助成制度が始まります

今年度より研究助成制度が創設されました。応募要領はホームページに掲載しています。今年度の応募は10月末に締切り、2件が採択されました。研究代表者、研究テーマ、助成額は以下の通りです。

小林法一：通所リハビリテーション向け介護予防プログラムの開発 (25万円)

石井奈智子：精神障害者の生活の質を高める精神科作業療法プログラムの開発 (25万円)

### 日本作業行動学会第22回学術集会が開催されます

**日本作業行動学会第21回学術集会**が平成24年9月15日(土)から17日(月・祝)まで、名古屋大学医学部保健学科(〒461-8673 名古屋市東区大幸南

1-1-20)で、原和子(愛知医療短期大学)大会長、美和千尋(名古屋大学大学院医学系研究科)実行委員長のもとで、開催されます。特別講演はイギリスのスコットランドのエジンバラにある Queen Margaret University 教授の Kirsty Forsyth 先生の予定です。なお、17日(月・祝)には、学術集会の一環として、1日評価法講習会が山田孝先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)を講師にして実施される予定です。

### 人間作業モデル講習会が開催されました

#### <北海道・旭川>

7月10日(日)に、1日評価法講習会を北都保健福祉専門学校(旭川市旭神町3-4)で9時から17時まで開催されました。参加者は会員4名、非会員29名でした。講師は山田孝先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)でした。参加費は会員5,000円、非会員7,000円、学生4,500円でした。

#### <北陸・金沢>

7月31日(日)に、1日基礎講習会を石川・金沢脳神経外科病院(野々市町郷町262-2)で開催しました。参加者は非会員27名、学生1名でした。講師は山田孝先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)でした。参加費は会員5,000円、非会員7,000円、学生4,500円でした。

#### <東海・名古屋>

8月20日(土)～21日(日)に、名古屋大学医学部保健学科(名古屋市東区大幸南1-1-20)で開催しました。講師は山田孝先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)と石井良和先生(秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻教授)でした。参加者は68名でした。参加費は両日参加の場合、学会会員9,000円、非会員11,000円、学生4,500円、リピータは会員6,000円、非会員8,000円でした。

#### <中国・岡山>

8月28日(日)に、人間作業モデル1日評価法講習会を岡山・地方独立行政法人岡山県精神科医療センター(岡山市北区鹿田本町3-16)で開催しました。講師は山田孝先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)でした。参加者は77名(会員6名、非会員64名、学生7名)でした。参加費は会員5,000円、非会員7,000円、学生4,500円でした。

### <関東・東京>

9月19日(月・祝)に、首都大学東京荒川キャンパス(荒川区東尾久7-2-10)で、人間作業モデル1日評価法講習会を開催した。講師は山田孝先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)でした。参加者は85名(会員7名、非会員78名)でした。参加費は会員5,000円、非会員7,000円、学生4,500円でした。なお、第21回日本作業行動学会学術集会の参加者で学会員の方は12名が参加し、2,000円でした。

### <九州・福岡>

9月25日(日)に、人間作業モデル1日評価法講習会を福岡県大牟田市の帝京大学福岡医療技術学部(大牟田市新勝立町4-3-124)で開催しました。講師は山田孝先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)でした。参加者は34名(会員7名、非会員25名、学生2名)でした。参加費は会員5,000円、非会員7,000円、学生4,500円でした。

### <関西・神戸>

10月22日(土)から23日(日)に、神戸市の兵庫医療大学リハビリテーション学部(神戸市中央区港島1-3-6)で人間作業モデル講習会を開催しました。講師は山田孝先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)と石井良和先生(秋田大学大学院)でした。参加者は81名(会員3名、非会員75名、学生3名)でした。学会会員9,000円、非会員11,000円、学生4,500円、リピータは会員6,000円、非会員8,000円でした。

### <九州・宮崎>

10月30日(日)に、宮崎市の宮崎リハビリテーション学院(宮崎市小松1119-8)で人間作業モデル1日評価法講習会を開催しました。講師は山田孝先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)でした。参加者は47名(会員3名、非会員44名)でした。参加費は会員5,000円、非会員7,000円、学生4,500円でした。

### <関東・東京>

11月26日(土)と27日(日)に、専門学校社会医学技術学院で人間作業モデル講習会を開催しました。講師は山田孝先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)と鈴木憲雄先生(昭和大学保健医療学部)でした。参加者は40名(会員6名、非会員30名、リピーター会員3名、非会員1名)でした。参加費は学会会員9,000円、非会員11,000円、学生4,500円、リピーターは会員6,000円、非会員8,000円でした。

### 北海道作業療法士会道南支部との共催です

### <北海道・函館>

8月6日(土)14時～7日(日)13時に、函館市立病院で一日講習会が開催されました。参加者は50名でした。講師は山田孝先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)でした。

### 人間作業モデル事例検討会が開催されました

8月14日(日)に、**第24回近畿**を、関西学研医療福祉学院(奈良市右京1-1-5)で、13時から16時まで開催しました。事例発表者は松岡剛健先生(奈良県立奈良病院。演題名「救急センターにおける社会的入院事例に対して、患者の意志および価値を評価・提示した1例」)と東川邦和先生(東神戸病院。演題名「排泄動作訓練を情けないと言った事例」)の2例でした。参加者は15名でした。講師は山田孝先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)でした。世話人大松慶子先生(関西学研医療福祉学院)でした。午前10時から12時までは、山田先生によるコミュニケーションと交流技能評価(ACIS)に関する講義がありました。参加者は19名でした。参加費はいずれも1,000円(学生500円)でした。

9月4日(日)に、**第22回神奈川**を、神奈川県立保健福祉大学(横須賀市平成町1-10-1)で、13時30分から17時まで開催しました。事例発表者は黒川晴香先生(横須賀共済病院。演題名「役割感と成功体験を得たことで手足の拙劣さにこだわりつつも家事・趣味の有能感が向上した事例」)の1例でした。講師は山田孝先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)で、コミュニケーションと交流技能評価(ACIS)に関する講義がありました。参加者は14名でした。世話人は笹田哲先生と鎌田樹寛先生(神奈川県立保健福祉大学リハビリテーション学科)で、参加費は1,500円でした。

9月11日(日)に、**第12回浜松**を、浜松市リハビリテーション病院(浜松市和合町1327-1)で開催する予定でしたが、都合により中止になりました。

10月1日(土)に、**第20回九州**を、麻生リハビリテーション大学(福岡市博多区東比恵3-2-1)で、午後2時から6時半まで開催しました。事例発表者は宮下幸久先生(徳山医師会病院。演題名「友人との交流にて生活を再構築し始めた事例」)でした。山田孝先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)

によるコミュニケーションと交流技能評価(ACIS)の講義がありました。参加者は33名と学生45名の78名でした。世話人は青山克美、近藤昭彦、安部剛敏の先生(麻生リハビリテーション大学校)で、参加費は1,500円(学生500円)でした。

10月2日(日)に、**第1回鹿児島**を、鹿児島大学医学部保健学科(鹿児島市桜ヶ丘8-35-1)で午後1時から5時半まで開催しました。事例発表者は瀬戸山寛先生(医療法人尚人会阿多病院。演題名「書字・書道を通して家族との絆を取り戻すことができた症例」と新川正二先生(大勝病院。演題名「寝たきり患者に興味ある作業活動を行うことで意志や機能面に変化が認められた事例」)でした。山田孝先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)による作業に関する自己評価(OSA)の講義がありました。参加者は23名でした。世話人は岩瀬義昭先生(鹿児島大学医学部保健学科)で、参加費は1,500円の予定でした。

10月9日(日)に、**第54回東京(東部地区)**を、首都大学東京荒川キャンパス(荒川区東尾久7-2-10)で開催しました。事例発表者は坂本麻衣健先生(柳原リハビリテーション病院。演題名「環境調整をきっかけに医師の表出が見られ始めた症例」)と藤田芽名先生(西武川越病院。演題名「俳句という作業により作業同一性を再構築した事例」)でした。講師は山田孝先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)で、作業に関する自己評価の講義がありました。参加者は12名と学生2名の14名でした。世話人は小林法一先生と川又寛徳先生(首都大学東京健康福祉学部)で、参加費は1,500円でした。

11月6日(日)に、**第4回四国**を、香川県の四国医療専門学校(宇多津町浜五番丁63-4)で、10時から17時まで開催しました。事例発表者は高木章宏先生(西山脳神経外科病院デイケアセンター。演題名「分かってあげたい～OT発信のデイケア全体でのかかわり～」)、東条由桂里先生(社会医療法人財団大樹会総合病院回生病院。演題名「拒否的な反応を示すクライアントに人間作業モデルを用いたことで良好な変化を引き出すことができた事例」)、そして、小林真由美先生(倉敷記念病院。演題名「50歳代男性は今の生活は充足しているのか」)の3題でした。講演は山田孝先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)によるコミュニケーションと交流技能評価の講義がありました。参加者は23名、学生2名でした。世話人は小林理英先生(国立病院機構善通寺病院)、谷渕加奈子先生(専門学校穴吹リハビリテ

ーションカレッジ)、松浦寿美子先生(四国中央医療福祉総合学院)で、参加費は1,500円、学生500円でした。

### 人間作業モデル講習会が開催されます

以下のように、人間作業モデル講習会を開催します。参加希望の方はホームページから学会事務局に申し込んで下さい。受講料は会員9,000円、非会員11,000円です。なお、これまでに受講されたことのある方はリピータ割引として3,000円引きで受講できます。

また、人間作業モデル1日講習会も開催されます。1日講習会は基礎として評価法編とアドバンスとして治療編があります。通常は基礎・評価法編からアドバンス・治療編の順序で受講することをおすすめしますが、そうでなくとも受講できます。受講料は会員5,000円、非会員7,000円、学生4,500円です。なお、値引きをしましたので、リピータ割引はありません。

人間作業モデル講習会を自分の地域で開催を希望する方は、研究会事務局までお知らせ下さい。事務局ではお申し出のあった方と関係者と協議して、講習会の開催を前向きに検討したいと思います。事務局のメールアドレスはobjim@jsrob.orgです。

#### <東海・浜松>

12月3日(土)から4日(日)に、人間作業モデル講習会を浜松市立リハビリテーション病院(浜松市中区和合町1327-1)で開催します。講師は山田孝先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)と野藤弘幸先生(浜松大学保健医療学部)の予定です。参加費は学会会員9,000円、非会員11,000円、学生4,500円、リピータは会員6,000円、非会員8,000円です。

#### <関東・東京>

12月25日(日)に、首都大学東京荒川キャンパス(荒川区東尾久7-2-10)で、人間作業モデル1日治療法講習会を開催します。講師は山田孝先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)の予定です。参加費は会員5,000円、非会員7,000円、学生4,500円です。

#### <北海道・旭川>

2月12日(日)に、1日治療講習会を北都保健福祉専門学校(旭川市旭神町3-4)で、9時から17時まで

開催します。講師は山田孝先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)の予定です。参加費は会員5,000円、非会員7,000円、学生4,500円です。

### <関東・神奈川>

3月17日(土)~18日(日)に、神奈川県立保健福祉大学(横須賀市平成町 1-10-1)で開催されます。講師は山田孝先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)と笹田哲先生(神奈川県立保健福祉大学准教授)の予定です。両日参加の場合、学会会員9,000円、非会員11,000円、学生4,500円、リピータは会員6,000円、非会員8,000円です。

### <関東・東京>

3月25日(日)に、首都大学東京荒川キャンパス(荒川区東尾久 7-2-10)で、人間作業モデル一日講習会・評価編を開催します。講師は山田孝先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)の予定です。参加費は会員5,000円、非会員7,000円、学生4,500円です。

### 人間作業モデル事例検討会が開催されます

12月11日(日)に、**第55回東京(西部地区)**を、専門学校社会医学技術学院(小金井市中町 2-22-32)で、午後1時から5時の予定で開催します。参加費は1,500円の予定です。また、午前10時から、山田孝先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)によるMOHOSTの実施に関する講義があります。参加費は3,000円です。世話人は鈴木憲雄先生(昭和大学保健医療学部)と樗木真実先生(専門学校社会医学技術学院)です。

12月18日(日)に、**第25回近畿**を、関西学研医療福祉学院(奈良市右京 1-1-5)で、13時から16時まで開催します。午前10時から12時まではMOHOSTの実施に関する講義があり、講師は山田孝先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)です。世話人大松慶子先生(関西学研医療福祉学院)です。参加費は1,000円(学生500円)です。参加費はいずれも1,000円(学生500円)です。

平成24年1月8日(日)に、**第12回浜松**を、浜松市リハビリテーション病院(浜松市和合町 1327-1)で、13時30分から17時まで開催します。講師は山田孝先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)で、作業に関する自己評価(OSA-II)に関する講義

があります。世話人は野藤弘幸先生(浜松大学保健医療学部)です。参加費は3,000円(学生1,500円)です。

1月15日(日)に、**第21回九州**を、麻生リハビリテーション大学(福岡市博多区東比恵 3-2-1)で、午前10時から午後4時まで開催します。山田孝先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)による「人間作業モデルにおけるリーズニング演習」の講義があります。世話人は青山克美、近藤昭彦、安部剛敏の各先生(麻生リハビリテーション大学)で、参加費は2,000円の予定です。

1月22日(日)に、**第5回四国**が、香川県の穴吹リハビリテーションカレッジ(高松市上天神町 722-1)で、10時から17時まで開催する予定です。山田孝先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)による評価法の講義があります。世話人は小林理英先生(国立病院機構善通寺病院)、谷渕加奈子先生(専門学校穴吹リハビリテーションカレッジ)、松浦寿美子先生(四国中央医療福祉総合学院)で、参加費は1,500円、学生500円の予定です。

1月29日(日)に、**第23回神奈川**を、神奈川県立保健福祉大学(横須賀市平成町 1-10-1)で、13時30分から17時まで開催します。講師は山田孝先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)で、評価法に関する講義があります。世話人は笹田哲先生と鎌田樹寛先生(神奈川県立保健福祉大学リハビリテーション学科)です。参加費は1,500円です。

2月5日(日)に、**第56回東京(東部地区)**を、首都大学東京荒川キャンパス(荒川区東尾久 7-2-10)で開催します。講師は山田孝先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)で、評価法の講習会があります。世話人は小林法一先生と川又寛徳先生(首都大学東京健康福祉学部)です。参加費は1,500円の予定です。

2月11日(土)に、**第5回旭川**を、北都保健福祉専門学校(旭川市旭神町 3-4)で10時から17時まで開催します。講師は山田孝先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)で、評価の実施法に関する講義があります。世話人は本家寿洋先生(北都保健福祉専門学校)です。参加費は1,500円です。

2月19日(日)に、**第57回東京(西部地区)**を、専門学校社会医学技術学院(小金井市中町 2-22-32)で、午後1時から5時の予定で開催します。講師は山田孝先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)で、午前10時から評価法の講習会があります。参加費は1,500円の予定です。世話人は鈴木憲

Dec. 2011

雄先生(昭和大学保健医療学部)と樗木真実先生(専門学校社会医学技術学院)です。

2月26日(日)に、**第26回近畿**を、関西学研医療福祉学院(奈良市右京1-1-5)で、13時から16時まで開催します。講師は山田孝先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)です。世話人大松慶子先生(関西学研医療福祉学院)です。参加費は1,000円(学生500円)です。午前10時から12時まではMOHOに関する講義があり、参加費はいずれも1,000円(学生500円)です。

3月11日(日)に、**第13回浜松**を、浜松市リハビリテーション病院(浜松市和合町1327-1)で、13時30分から17時まで開催します。講師は山田孝先生

(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)で、評価法に関する講義があります。世話人は野藤弘幸先生(浜松大学保健医療学部)です。参加費は3,000円(学生1,500円)です。

このほかに、**北海道作業行動研究会**でMOHO事例検討会を行っています。世話人・講師は村田和香先生(北海道大学大学院保健科学研究院教授)で、参加費は500円です。参加者は研究会に入会する必要があります(入会金1,000円)。日程はホームページをご覧ください。

研修会情報は研究会のホームページをご覧ください。詳細な情報を得て、ご参加下さい。